

科目名 (科目番号)	臨床解剖学演習 (時間割参照)	教員名 本間 光彦	学科等	診療放射線	必修	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			オフィスアワー		前期水 ¹ 後期木 ¹	B316研究室	
授業概要	人体構造を画像化する診療放射線技師にとって、人体構造を立体的に理解していることはとても重要である。授業では、解剖学・生理学で学んだ知識の再確認をしながら、人体模型や体表からの人体の観察・触察を通じて、人体の構造をより立体的に理解することを目標とする。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	臨床解剖学概論	到達目標:臨床解剖学概論、組織学、外皮系、発生学概論について理解する。 学習内容:解剖学の考え方、組織学、外皮系、発生学の基礎について学習する。				
	2	骨格系	到達目標:骨格系を理解し、体表から骨を触知出来ることを目標とする。 学習内容:骨格系を理解し、模型や自身あるいは友人の身体を用いて骨格系を観察・触察する。				
	3	筋系①	到達目標:骨格筋の構造、軸筋群を理解し、体表から筋を触知出来ることを目標とする。 学習内容:骨格筋の構造、軸筋群を理解し、模型や自身あるいは友人の身体を用いて筋系を観察・触察する。				
	4	筋系②	到達目標:付属肢筋群を理解し、体表から筋を触知出来ることを目標とする。 学習内容:付属肢筋群を理解し、模型や自身あるいは友人の身体を用いて筋系を観察・触察する。				
	5	神経系	到達目標:中枢神経系、末梢神経系について理解する。 学習内容:神経系を理解し、模型や自身あるいは友人の身体を用いて神経系について学習する。				
	6	循環器系	到達目標:血液、心血管系、リンパ系について理解する。 学習内容:循環系を理解し、模型や自身あるいは友人の身体を用いて循環系について学習する。				
	7	呼吸器系	到達目標:呼吸器系について理解する。 学習内容:呼吸器系を理解し、模型や自身あるいは友人の身体を用いて呼吸器系について学習する。				
	8	消化器系他	到達目標:消化器系、泌尿器系、生殖器系について理解する。 学習内容:神経系を理解し、模型を用いて消化器系、泌尿器系、生殖器系について学習する。				
成績評価の方法・基準	期末試験(100%)						
教科書	カラー人体解剖学 構造と機能:ミクロからマクロまで		井上貴央 監訳			西村書店	
参考図書	①プロメテウス解剖学 コア アトラス(第3版) ②改訂版 ボディナビゲーション～触って分かる身体解剖～		坂井 建雄 監訳 阪本桂造 監訳			医学書院 医道の日本社	
教員からのメッセージ	1回目の授業の時に説明しますが、自身あるいはお互いの身体を使って観察・触察を行う回(2～4回目)があります。そのときは、Tシャツ・短パンなど観察・触察しやすい服装を準備して授業に臨んでください。						